

令和元年 6 月 20 日(木)

産学連携学会正会員 各位

特定非営利活動法人 産学連携学会
会 長 木村 雅和

令和元年 6 月定例総会決議のご通知

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、本日開催の表記総会において、下記のとおり承認並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具

記

決議事項

- 1号議案：平成30年度事業報告
- 2号議案：平成30年度決算報告
- 3号議案：令和元年度事業計画
- 4号議案：令和元年度事業予算計画
- 5号議案：役員改選
- 6号議案：令和元年度表彰者

上記の件は、原案どおり可決承認されました。

以上

特定非営利活動法人

産学連携学会・定期総会

令和元年6月総会資料

【とき】 令和元年6月20日（木）
17:40～18:00

【ところ】 奈良県文化会館
2階小ホール
〒680-8213 奈良県奈良市登大路町6-2

プロメテウスの火
人類は火とそして知恵を授かり、
しかし未来を知る能力を失った。
代わりに得たのは、希望であった。
今、私たちは破壊と創造の火を燃やす。

特定非営利活動法人 産学連携学会

2019

令和元年6月定期総会 議事資料

1. 日時：令和元年6月20日（木） 17：40～18：00
2. 場所：奈良県文化会館 2階小ホール
3. 出席者数：正会員総数_____人のうち_____出席（うち表決委任者_____人）
（定款 第26条 総会は、正会員総数の3分の1以上の出席がなければ開会することはできない）
4. 議長及び議事録署名人（2名）選任：
（定款 第25条 総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する）
議 長
議事録署名人
議事録署名人
5. 開会：議長開会宣言
6. 議事：
 - 1号議案：平成30年度事業報告
 - 大会の開催：平成30年6月14日～15日の日程で第16回大会を主会場：山口県教育会館、副会場：山口県社会福祉会館（山口市）において開催した（参加者数401名、発表件数148件）
 - 学会誌の発行：学会誌「産学連携学」第14巻第2号を平成30年6月30日に、第15巻第1号を平成31年1月20日に発行した
 - シンポジウムの開催：平成30年12月21日に「産学官連携による革新的イノベーションの可能性 ～ゲノム編集技術の実現に迫る～」をテーマに東京医科歯科大学（東京都文京区）を会場に秋季シンポジウムを開催した
 - 海外学会との交流：平成30年12月6日、7日に高知県産学官民連携センター（ココプラ）において、韓国の産学協力学会のLee会長らを招き第4回日韓ワークショップを開催した（日韓比較研究会、参加者：15名、発表者：13名）
 - ニュースレターの発行：ニュースレター32号を発行した（平成31年2月）
 - メールニュースの発行：第899号～第982号発行（84回）のメールニュースを全会員に提供した
 - お茶の水コラボレーションセミナーの開催：東京都市ヶ谷 JST 東京本部別館会議室にて第29回～第32回（全4回）のセミナーを開催した（平成30年5月7日、平成30年9月12日、平成30年12月13日、平成31年2月13日）
 - 各支部活動
 - ・北海道支部：平成30年度支部総会を開催（平成30年7月9日：札幌市）、産学連携セミナー「産学連携には人材育成もあるんだ！」の開催（平成30年7月9日：札幌市）
 - ・東北・北関東支部：産学官各セクター間の知識フローに関して理解を深め、産業の高度化とイノベーション創出へのヒントを得ることを目的に「産学・地域連携セミナー」を開催（平成31年2月8日：郡山市）
 - ・関西・中四国支部：第10回研究・事例発表会&記念講演会を開催（平成30年11月30日～12月1日：岡山市）
 - ・九州支部：平成30年度産学連携ネットワーク会議を開催（平成31年3月2

9日：福岡市)

- 研究会活動
 - ・ 学連携システム研究会：第19回研究会(北海道支部共催、平成30年12月19日：江東区)の開催
 - ・ オープンイノベーション研究会：オープンイノベーションの先行事例、支援システムの紹介等を進めるための議論を重ね、事業提案を行った
 - ・ リサーチ・アドミニストレーション研究会：第9回研究会(平成30年6月13日：山口市)、研究大会オーガナイズドセッション(平成30年6月15日：山口市)、第10回研究会(平成30年8月8日：川崎市)
 - ・ 地域社会実装研究会：研究会の開催、第1回「中小企業産学連携ニーズ研究」(平成30年9月10日：帝塚山市)、第2回「中小企業ニーズ発掘サロン」(平成30年12月6日：帝塚山市)
 - ・ 行動経済学・社会システム研究会：関西・中四国支部の第10回研究・事例発表会&記念講演会での2件の発表と新たな研究テーマの設定についての協議を行った(平成31年2月26日～27日：松山市)
 - ・ 日韓比較研究会：第4回日韓ワークショップを開催(平成30年12月6日、7日：高知市)
- 各種イベントや展示会での出展
 - ・ 「アグリビジネス創出フェア2018」への出展(平成30年11月20日～22日：江東区)(研究促進委員会)
- 後援事業：「第10回国際ワークショップ(平成30年10月18日～19日：三重県津市)」「アグリビジネス創出フェア2018(平成30年11月20日～22日：江東区)」「輸出管理 DAY FOR ACADEMIA 2019(平成31年3月20日：江東区)」「第6回福祉住環境サミット(平成31年3月16日～17日：大阪府豊中市)」の4件
- 理事会開催：平成30年4月2日、平成30年6月13日、平成30年10月2日、平成30年12月21日(全4回)

2号議案： 平成30年度決算報告 (別紙資料-1・2・3・4)

3号議案： 令和元年度事業計画

- 大会の開催 第17回大会を奈良市で開催
- 学会誌の発行 「産学連携学」を年2回発行する。
- 秋季シンポジウムの開催
- 韓日ワークショップ(釜山市、10月)の開催など海外学会との連携強化
- ニュースレター(年3回(予定))、メールニュース(随時)の発行
- 各支部活動
 - ・ 北海道支部：支部総会の開催(令和元年7月予定)、防災・危機管理セミナー開催(令和元年7月予定)、地域経済分析システム(REASAS)活用セミナー開催(令和元年10月予定)、「東日本リエゾンカンファレンス」の開催協力(令和元年9月：秋田開催予定)
 - ・ 東北・北関東支部：「東日本リエゾンカンファレンス in 秋田」を北海道支部等と連携して開催(令和元年9月予定)、「群馬産学連携イベント(仮)」の開催

(令和2年：群馬県内)

- ・関西・中四国支部：幹事会（令和元年12月、令和2年2月予定）の開催に加え、令和元年12月頃に第11回研究・事例発表会を地域活性学会中四国支部と連携して実施（場所：広島市）
- ・九州支部：各地域での取組み事例に基づき、産学連携ネットワーク会議を開催予定
- 研究会活動
 - ・学金連携システム研究会：第20回研究会の開催（秋田市）
 - ・オープンイノベーション研究会：2回程度の開催
 - ・リサーチ・アドミニストレーション研究会：全国大会におけるオーガナイズドセッションの開催および研究会2回程度の開催予定
 - ・地域社会実装研究会：奈良県産業総合振興センターとの共催により「産学連携におけるデザイン戦略（仮）」に関する研究会を開催予定
 - ・日韓比較研究会：韓国産学協力学会との打合せ（令和元年7月予定）と韓日ワークショップの開催（令和元年10月：釜山予定）
- 各種イベントや展示会での出展

4号議案： 令和元年度事業予算計画（別紙資料－5）

5号議案： 役員改選（別紙資料－6）

6号議案： 令和元年度表彰者（別紙資料－7）

7. 閉会：議長閉会宣言
議長解任

【平成30年度役員】（令和元年6月時点）

会 長：木村雅和（静岡大学）

副会長：飯田香緒里（東京医科歯科大学）、石塚悟史（高知大学）、川崎一正（新潟大学）、

理 事：網屋毅之（宇都宮大学）、伊藤慎一（秋田大学）、伊藤正実（群馬大学）、

内島典子（北見工業大学）、内山大史（弘前大学）、緒方智成（熊本大学）、尾関雄治

（東レ（株））、小野浩幸（山形大学）、川名優孝（東京海洋大学）、木村友久（山口大学）、

菅万希子（帝塚山大学）、林聖子（亜細亜大学）、廣田勝巳（科学技術振興機構）、

松平竹央（知財経営研究社）、松本毅（（一社）Japan Innovation Network）、山口佳和

（千葉工業大学）、山本一枝（（株）ウェザーコック）

会長、副会長を加え21名

監 事：北村寿宏（島根大学）、桑江良昇（北里大学）

理事 21名

監事 2名

事務局長：小野浩幸（山形大学）

平成30年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 産学連携学会

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	3,930,474	
	未収金	208,800	
	貯蔵品	191,429	
	仮払金	551,000	
	流動資産合計・・・①		4,881,703
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		
	(2)無形固定資産 商標権	108,960	
	(3)投資その他の資産 差入元入金	140,000	
	固定資産合計・・・②		248,960
【A】	資産合計 ①+②		5,130,663
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	未払金	664,891	
	前受金	59,000	
	預り金	17,357	
	流動負債合計・・・③		741,248
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		
	負債合計 ③+④		
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	4,045,719	
	当期正味財産増減額	343,696	
	正味財産合計		4,389,415
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		5,130,663